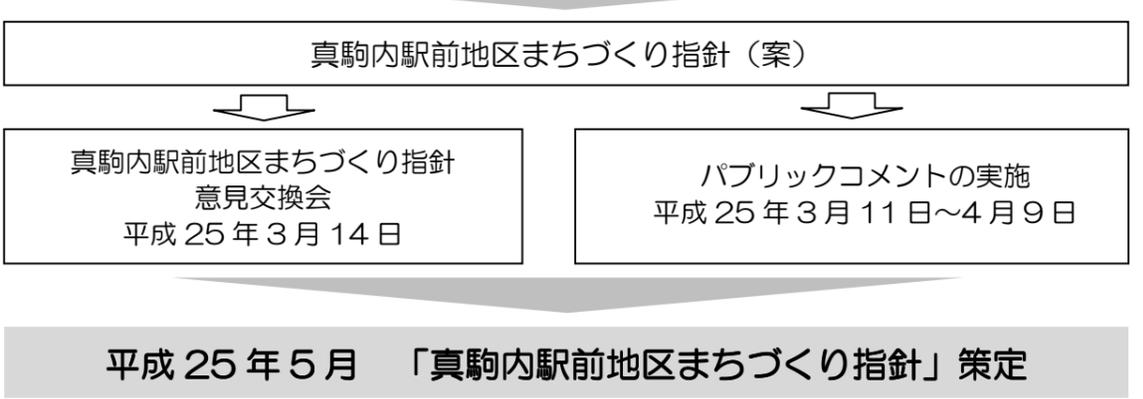
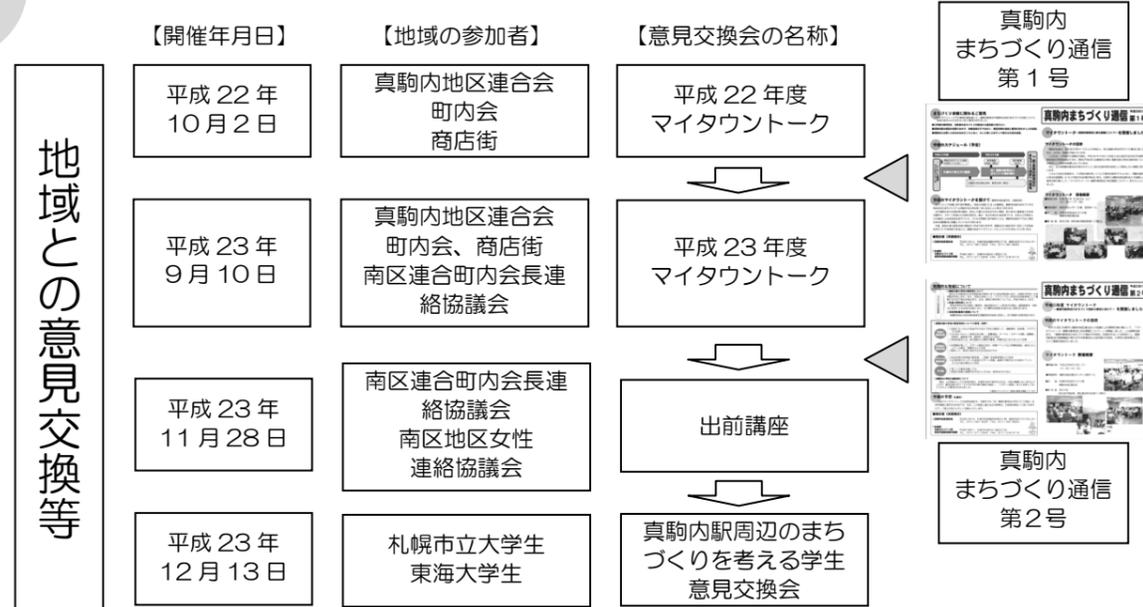


まちづくり指針策定までの経緯



今後の予定(札幌市)

当面の取組としての旧真駒内緑小学校の活用は、平成 27 年度のオープンを目指します。その後、旧真駒内緑小学校を拠点とした新たな活動・交流を展開するとともに、将来的な土地利用の再編に向けた検討も進めたいと考えています。

今回の指針の策定は今後のまちづくりに向けた 1 つ目のステップと考えておりますので、さらに具体的な取組を進めていくために、今後とも皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

なお、本指針は、下記の場所で公表しています。

- 市役所本庁舎 【5階】地域計画課、【2階】市政刊行物コーナー
- 各区役所 総務企画課広聴係、南区各まちづくりセンター
- 本市ホームページ (<http://www.city.sapporo.jp/keikaku/kougai/index.html>)

●発行者(共同発行)

- 真駒内地区連合会 〒005-0014 札幌市真駒内幸町2丁目 真駒内まちづくりセンター
TEL. (011) 581-3025 FAX. (011) 581-8020
- 札幌市 市民まちづくり局 〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目
都市計画部地域計画課 TEL. (011) 211-2545 FAX. (011) 218-5113



真駒内まちづくり通信 平成 25 年 5 月 第 3 号

「真駒内駅前地区まちづくり指針」がまとまりました

真駒内駅周辺の課題やまちづくりの方向性については、平成 22 年度のマイタウントーク※を皮切りに地域と札幌市とが意見交換を重ねてきましたが、このたび、札幌市は「真駒内駅前地区まちづくり指針」を策定しました。

この指針は、マイタウントークの結果等を踏まえて素案をまとめ、さらに地域との意見交換やパブリックコメント（全市民を対象とした意見公募）を経て、素案を一部修正して策定されたものです。（パブリックコメント等の結果や策定経緯については次頁以降を参照）

※ マイタウントーク…札幌市と真駒内地区連合会との協働による意見交換の場

真駒内駅前地区まちづくり指針 の概要

1 目的と位置付け

南区及び真駒内地域の課題に対応するとともに、多様な地域資源を活かしたまちづくりを先導する取組として駅前地区(右下図参照)の再生を図るため、駅前地区のまちづくりの目標と取組の方向を示すものです。

2 まちづくりの現状と課題

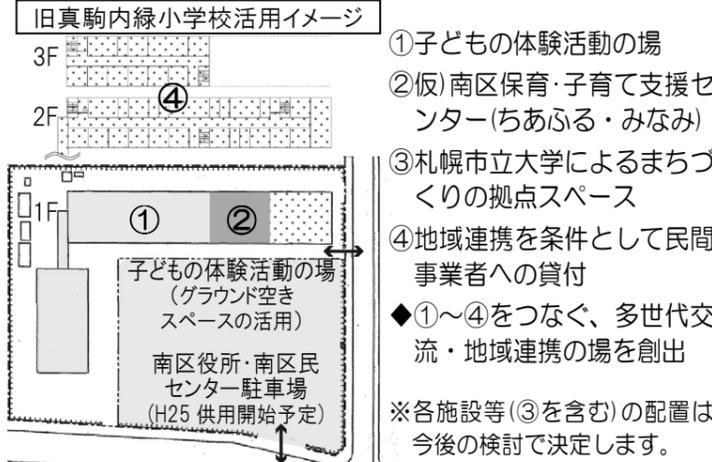
- 現状**
- ①特徴的な歴史
 - ②みどり豊かな住宅地
 - ③南区全体にとって重要な位置
- 課題**
- ①人口減少・少子高齢化に伴う課題
 - ②小学校の統合と閉校後の跡利用
 - ③公共施設の老朽化
 - ④地域から寄せられた意見等(交通、にぎわい)

3 真駒内駅前地区のまちづくりの目的

- 基本方針**
- 通過型から人が集まる滞留・交流型の駅前地区へ
 - 駅前地区の活動と交流の広がり で南区全体の魅力向上へ
- 基本目標**
- 目標1 駅前の拠点性を活かしたにぎわい・交流の創出
 - 目標2 安全で安心な暮らしを支える機能の確保
 - 目標3 多様なコミュニティ活動が展開する場の形成
 - 目標4 みどりと歴史を感じ、環境にもやさしい街並みづくり

4 当面の取組 ～旧真駒内緑小の活用～

(1)子どもを中心とした多様な連携・交流が生まれる場を創出



(2)南区役所・南区民センター駐車場を整備

5 将来的な取組の方向

～駅前地区の土地利用の再編～

- 行政・公共サービス機能を地下鉄駅に近づけて配置
 - 民間活力の導入可能性を検討
 - 交通結節点機能の向上を検討
- 土地利用再編に合わせた取組
- 土地利用再編の区域の拡大
 - 駅前にふさわしい空間づくり
 - 街並みの魅力向上
 - 環境にやさしいまちづくり



真駒内駅前地区まちづくり指針 意見交換会

<実施概要>

- 【開催日】平成 25 年 3 月 14 日
- 【参加者】60 人 (H22、H23 のマイタウントーク参加者にご案内)
- 【テーマ】(第 1 部)「真駒内駅前地区まちづくり指針(案)」についてのご説明
(第 2 部) グループディスカッション<<旧真駒内緑小学校の活用について>>



<主な意見>

子どもの体験活動の場について

- (まなび・体験) 料理教室、防犯教室、水あそび、絵画、囲碁、自然体験・職業体験、昔遊び
- (交流) 子どもの自主性、住民参加の朗読会、小中高生の多世代交流
- (運営) 親子で参加、子ども会議設置、大人の目、大学生の指導

民間事業者が行う地域連携事業について

- (運営) 責任と実績のある事業者、運営委員会の設置、学生ボランティア
- (交流) コミュニティカフェ、軽食・喫茶、ミニシアター、サロン
- (高齢者支援) 食事の宅配、パソコン教室、オープンキャンパス、健康増進
- (その他) 貸室、図書館

仮)南区保育・子育て支援センター(ちあふる・みなみ)について

- (子育て支援) 育児講座、子育てサロン、学童保育
- (交流) 高齢者とのふれあいの場、育爺、隣人まつり

多世代交流・地域連携の場について

- (まなび・体験) 食育、菜園・花壇、展示会、朝市、郷土愛・歴史、図書館、スポーツ大会
- (交流) 無料で利用できる広場・サロン、祭り、音楽祭、地域の高齢者との交流
- (体育館) 冬場の活用

区役所の駐車場を早く整備してほしい。
(旧真駒内緑小グラウンド)

その他の意見

平成 25 年度中の供用開始を目指しています。
現在、整備のための準備中です。

旧真駒内緑小を避難場所に指定してほしい。

その他の意見

施設全体の計画などが具体化していく中で、
地域の要望に応じて検討します。

指針の主な修正点

これらを踏まえ修正

① 地域の特色を活かした南区全体の拠点としての駅前へ

◇南区全体へのまちづくりの広がりを実現するため、目的の記述を充実しました。

- ・自然環境や文化資源など南区の地域資源とその活用の必要性
- ・真駒内地域の歴史背景として、札幌冬季オリンピックとその関連施設
- ・駅前地区の位置付けとして、地下鉄始発駅の重要性和現況

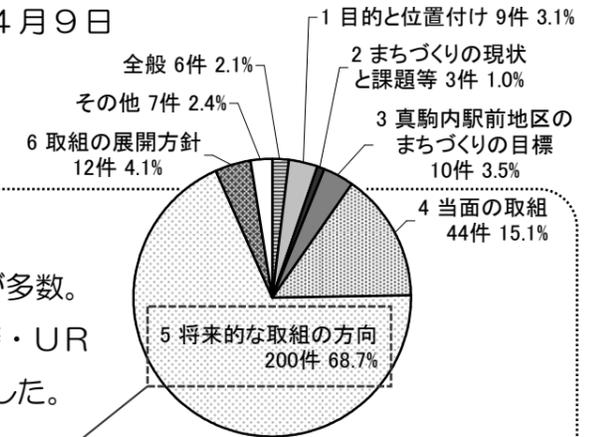
◇現状をより理解するための図表を追加しました。

- ①南区の主な観光施設 ②大規模な住宅開発等 ③みどりの分布
- ④真駒内駅周辺の交通 ⑤地域熱供給ネットワーク

パブリックコメントの実施結果

<実施概要>

- 【実施期間】平成 25 年 3 月 11 日～平成 25 年 4 月 9 日
- 【意見提出者】130 人
- 【延べ意見数】291 件



<意見の傾向>

- ・意見の中心 ⇒ 将来の再編に関するもの(約7割)
- 商業施設などによるにぎわいと交通環境への意見が多数。
- 一方、みどりなど真駒内らしさを求めるもの、道警・URの敷地等を含めた区域の広がりへの意見がありました。

～将来的な取組に関する意見の内訳～

- ① にぎわい・交流を期待するもの 71件
ショッピングセンター、飲食店、カフェなどの設置
- ② 交通環境の改善を期待するもの 41件
自家用車の送迎スペース、バスターミナル、空中歩廊など
- ③ 市有施設以外も含めた再編を求めるもの 32件
道警公宅、UR 五輪団地、道営住宅など
- ④ 真駒内らしさを活かした整備を期待するもの 16件
みどりの保全、にぎわいは求めない

- ・その他当面の取組の内容(子育て環境の充実・交流の場の創出)に賛同するもの、大学・NPOなどとの連携を期待するもの、語句の分かりやすさなどに関するものがありました。

② 札幌市立大学と連携したまちづくりの取組

◇取組の主体として「大学」を明確に位置づけました。

- ・旧真駒内緑小学校に札幌市立大学によるまちづくりの拠点スペースの確保(※表紙「4 当面の取組」参照)
- ・多世代交流、地域連携のコーディネーターとして札幌市立大学を位置付け

③ その他

- ・表現を分かりやすくするための補足
- ・字句修正、専門用語等の解説などの追加

